

## 令和5年度 林業普及週間現地情報(2/18～2/24)

森林管理課

伊平屋村の白炭生産者について

2月20日(火)

令和6年2月20日、伊平屋村で白炭を生産している方がいると聞き、生産者に会いに行った。

白炭は、県内で一般的に販売されている黒炭よりも炭化率が高く良質であるが、黒炭が400℃～700℃の温度で炭化させ消火した後に取り出すのに対し、白炭は1000℃以上の高温で炭化させ炭化の途中で窯から出し灰と土の混合物を被せて冷却させて作るため、亜熱帯の沖縄で高温下での作業である白炭を作る人はほぼいない。

伊平屋村の白炭生産者の柳沼晋さんは10年ほど前から冬季に白炭を生産している。柳沼さんは、「外来種であり、海岸を中心に生育場所を広げているモクマオウは白炭の材料に向いている。外来種を駆除しながら資源として有効活用したい。」と語っていた。

今後は、県としての支援の方法を模索しながら、伊平屋村の白炭を広めていきたい。



炭窯と柳沼さん

(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、中村、森田、佐野)